

同市が重視していることに疑いはない。

情報入手に敏感な市と 情報感度を大切にする 支援機関

円滑なネットワークの活動を支えるために同市が重視しているのは、市域外の情報であり、市域外の組織との関係構築であった。今治市を本拠地とする金融機関が存在しないことは、逆に同市が金融機関との交流を頻繁に行い、関係の維持・構築に努める要因となっているようである。また、経済産業局など国の機関との接触も重視することで、いち早く正確な施策情報を入手しようとしている。そして入手した情報を速やかにネットワークの活動に反映させようとしている。

IBICや商工会議所などネットワークを構成する支援機関には、創業予備軍が発信している微かな情報を逃がさず拾い上げるための窓口機能を重視する姿勢が見られる。具体的には、相談に訪れた方に特定の担当者に対応することによって、相談者との関係を築き、相談者が気づいていない強みなどの情報を見抜くことで、創業につながる仕組みである。

こうした支援機関の取り組みは、決して特別なものではないかもしれないが、創業された方の感想から、着実に実行されていることが推察された。